

開講年度・学期	2017 年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（法社会学）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on Sociology of Law	担当教員	阿部 昌樹
単位数	4		

科目の主題

司法の法社会学

授業の到達目標

日本の司法は「消極的」であるということが、繰り返し指摘されてきた。そして、どのような要因が日本の司法にそうした制度的特質をもたらしているのかが、様々な視角から検討されてきた。今日においてはまた、実際には、日本の司法は一般に考えられているほどには「消極的」ではないという指摘もなされている。さらに、1999 年以降の司法制度改革が、日本の司法の制度的特質に変化をもたらしたのか否かについても、検討がなされ始めている。本年度のゼミでは、そうした日本の司法の制度的特質についてのこれまでの議論を幅広く検討したうえで、社会のなかで法が実現されていく、その動態についての社会科学的な理解を深めることを目的とする。

授業内容・授業計画

第 1 回	ガイダンス	第 16 回	演習（個別報告・討論）
第 2 回	演習（文献講読・討論）	第 17 回	演習（個別報告・討論）
第 3 回	演習（文献講読・討論）	第 18 回	演習（個別報告・討論）
第 4 回	演習（文献講読・討論）	第 19 回	演習（個別報告・討論）
第 5 回	演習（文献講読・討論）	第 20 回	演習（個別報告・討論）
第 6 回	演習（文献講読・討論）	第 21 回	演習（個別報告・討論）
第 7 回	演習（文献講読・討論）	第 22 回	演習（共同報告準備・討論）
第 8 回	演習（文献講読・討論）	第 23 回	演習（共同報告準備・討論）
第 9 回	演習（文献講読・討論）	第 24 回	演習（共同報告準備・討論）
第 10 回	演習（文献講読・討論）	第 25 回	演習（共同報告準備・討論）
第 11 回	演習（文献講読・討論）	第 26 回	演習（共同報告・討論）
第 12 回	演習（文献講読・討論）	第 27 回	演習（個別報告・討論）
第 13 回	演習（文献講読・討論）	第 28 回	演習（個別報告・討論）
第 14 回	前期のまとめ	第 29 回	演習（個別報告・討論）
第 15 回	後期の演習の進め方についての討論	第 30 回	全体のまとめ

事前・事後学習の内容

前期については、第 1 回の授業で指示する各回の指定文献を、該当する回の授業前に精読するとともに、授業内容を踏まえて、その指定文献の内容について復習することを求める。後期については、各回の個別報告および共同報告のために必要な準備を行うとともに、各回の報告および討論の内容を授業後に振り返り、問題点を解消しておくことを求める。

評価方法

授業への参加状況、講読文献の理解度、個別報告および共同報告の完成度を総合的に評価する。なお、出席回数が3分の2未満である場合には、原則として単位を認定しない。

受講生へのコメント

裁判所は権力分立原則に則って構成された統治機構の一部を構成しており、本来的に「政治的」な存在である。ゼミでは、裁判所が「政治的」であるということの意味を、様々な側面から考えていきたい。法学的観点だけではなく政治学的な観点をも踏まえて、司法制度についての理解を深めたいと考えている学生の参加を期待する。

教材

第2回から第13回までの授業で取り上げる教材は、第1回の授業の時間に指示する。教科書的なものではなく、専門的な学術論文を主として取り上げ、同じ現象について様々な研究方法があり、対立する解釈が主張されていることを知るために、かなりの量の文献を読むことになる。第16回以降の授業は、受講者の個別報告と共同報告を中心としたものとなるが、各回の報告についての理解を深めるために有益な文献を適宜指示する。

その他**履修可能最低年次**

3年次生以上